


# 新聞局 全道大会で総合賞 9年ぶりに返り咲く 総文祭にも出場



発行 開成中等新聞局  
発行責任者 宮崎 \* \* \*  
\* \* \*  
制作者 吉田 町田

1/365コマ  
  
今年もたまねぎ週間、さまざまな種類のたまねぎが展示されていた。

10月2日から4日にかけて苫小牧市にて第68回全道新聞研究大会が行われ、新聞局が9年ぶりに総合賞を受賞した。また来年7月末に香川県にて行われる全国高等学校総合文化祭の代表校にも選出された。

大会や普段の活動について局長の宮崎ほかさん(5年)にインタビューした。

Q1大会のスケジュールを教えてください。

A1大会1日目は開成式に参加しSDGsに関する講演を聞き、2日目は8つの分科会で新聞作りについて学びました。3日目は閉成式とコンクールの受賞発表がありました。

Q2受賞した感想を教えてください。

A2去年は先輩方が作っていた特定の記事が評価されて特別賞を受賞しました。今年は総合賞という1年間の取り組みが評価された賞を頂けて嬉しです。また、コロナで一度歴史が途切れていましたが、以前の開成は賞を多く取っている強豪校だっ

たので、返り咲くことができて歴代の先輩たちへの感謝や、ついにやったぞという気持ちが強いです。

Q3大会までにどのような活動をしていましたか。

A3kaisei's decisionという校内の出来事と社会的な動きを繋げる新しいコーナーを作成しました。中高生は社会的な流れにあまり興味がないことが多いと思いますが、より身近に捉えてほしいという意図で始めました。

Q4総文祭への意気込みを教えてください。

A4今のところ総文祭には1人しか参加できないため、参加する後輩には、全国の様々な高校から新聞の形式や取り組みを学び、たく

大会2日目に行われた分科会では、新聞作成の技術講習や他校との活動内容の交流が行なわれた。



▲作成した新聞を発表する局員

## 分科会でスキルアップ

B②分科会ではレイアウトの考え方について学び、実際に参加者が作ってきた新聞をグループで改善した。

参加した生徒からは「帯広や旭川など様々な場所から来ている人と交流ができて楽しかった」「基礎を学べて良かった。他校のレイアウトを見て新しい発見があった」との感想が挙がった。

### 局員のひとりごと

私の予想ではコシが尋常ではない、とてもモチモチしたうどんだと思います▼あとはやはり瀬戸内海を見てみたいですね。北海道では見られない穏やかな海に癒されたいものです▼サイクリングもいいですね。目的地を決めずに高松を自由に駆け回るとか魅力的だと思いませんか。

さんのことを吸収してほしいです。またその学びを後輩に伝えて新聞をより良くすることを期待しています。

Q5今後はどのような記事を発行していく予定ですか。

A5他校の新聞では地域の動きを取り上げていくことが多いですが、開成ではそのような記事は作ってこなかった。ので今後は挑戦していきたいです。また、他校の新聞局とコラボした新聞作成も予定しています。お楽しみに！